

会議速報

開催概要

- 名称：第3回新潟市広報検討会議
- 日時：平成29年8月1日（火）午前10時から正午まで
- 場所：新潟市役所本館6階 第3委員会室
- 出席委員：伊藤委員、岩佐委員、椎谷委員、長尾委員、藤田委員（5名：五十音順）
- 事務局：広報課（加藤課長、佐藤課長補佐、米山係長、岡村係長、伊藤主査、小林主査、平賀主事、池田主事）
広報戦略課（鈴木課長）
- 傍聴者：1名

会議内容

<議題 テレビ、ラジオ、WEBを活用した広報のあり方について>

(1) 広報テレビ・広報ラジオでの効果的な情報発信について **資料1** **資料2**

- ・「テレビ」と「ラジオ」媒体特性の説明や視聴者層の動向について、事務局より説明。
- ・今年度、実施している広報テレビの試行的な取り組みと、現時点までの効果や影響などを報告し、今後の広報テレビのあり方について意見交換を行った。
- ・広報ラジオについては、ターゲット層の絞り方や局毎の放送内容、クロスメディアの方法などについて意見交換を行った。

(2) WEBを活用した広報について **資料3** **資料4**

- ・インターネットの利用状況動向を示し、WEBが市政情報を発信する重要な広報媒体となっていることを説明。
- ・今年度予定している市公式ホームページのリニューアルについて概要を説明。
- ・市公式アプリなどによる広報の説明。
- ・SNSの種類毎の特徴や他都市のSNSの利用状況について説明。

(3) その他 **資料5**

第4回広報検討会議において、今までの広報検討会議での意見を踏まえた「提言書」の案を精査していくことを説明。

<委員の主な意見>

テレビ、ラジオ、WEBを活用した広報のあり方について意見交換

- ・テレビの良さは録画が出来ること。広報テレビを見てもらうためには、事前に「市報にいがた」等で番宣してみるのもよいのではないか。
- ・現在の広報テレビの放送時間枠は、放送当初からずっと変わっていないはず。その頃のメディア事情と現状のメディア事情は変化しているし、人間の行動時間帯も相当変化しているので、今後、番組放送枠を再検討していくべき部分なのではないか。
- ・テレビでの市政情報の発信は、きっちり情報を伝えようというより興味を引きつけるCMみたいなイメージ戦略的なとらえ方にしていたほうが良い。
- ・テレビ局はいつもネタを探している。情報番組の中の一枠で、市のイベント紹介をじっくりやってもらうと効果的。日頃より良い意味での営業活動をやっておくと、全然お金が掛からなくて、とても効果的な広報ができる。
- ・ラジオ放送は、何かをしながらで聞く方も多いが、実はテレビよりも、しっかり情報を内容として聞けるので、市政情報の発信手段として大切にしたいほうが良い。特に通勤の人に対して、朝晩の平日のラッシュ時に放送できれば効果的。
- ・「マチイロ」（市報にいがたを読めるアプリ）は情報が豊富で、市報を見ることができる良いアプリ。フリーペーパー等を使って、特にお母さん方に積極的に宣伝すべき。
- ・今後有効なSNSは、LINEとInstagram。LINEはプッシュ型で情報を逃さず見てもらえる。また、すぐに質問という形で問い合わせをすることができて、既読機能があるので、市民の方々にとっては安心感がある。また、Instagramでのイメージ配信は、これほど世界につながるブランディングツールは無いと思うので、本当にきれいな写真、楽しいイベント等を発信していく必要がある。
- ・LINEを行政が組織として手掛ける場合は、回答対応などの人員体制のことも考えておいたほうが良い。